



2023年10月16日

各 位

本社所在地 東京都渋谷区代々木3-25-3
会社名 **レカム株式会社**
代表者名 代表取締役社長 伊藤 秀博
(コード番号：3323 東証スタンダード市場)
問合せ先 社長室 室長 橋本 和彦
(TEL:03-4405-4566)
(URL: <https://www.recomm.co.jp>)

中国 RPA 企業との合弁会社設立合意に関するお知らせ 日本に続いてマレーシアでも進化型 RPA サービスの独占販売を開始

当社は、本日開催の取締役会におきまして、杭州実在智能科技有限公司（英語名：INTELLIGENCE INDEED、本社：中華人民共和国浙江省杭州市、董事長兼 CEO 孫林君、以下「実在智能社」と、マレーシアで共同事業を開始するために合弁会社を設立することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携に至る経緯

当社は、企業のコストダウンや業務効率化、DX 推進など経営課題を解決する BtoB ソリューションプロバイダーです。

実在智能社は、中国の大手 IT 企業出身の孫氏（同社董事長）が、従来型の RPA(※1)技術に AI 機能を融合した次世代型業務自動化ツールである IPA(※2)サービスの普及による顧客企業の DX 推進支援を目的に、2018 年 7 月に設立されたベンチャー企業です。同社は、設立以来特許を含め数百件の知的財産を保有し、その技術力が高く評価され、中国 IT 業界で 70 余りの賞を受賞した他、2021 年には準ユニコーン企業にも認定されており、RPA サービスのリーディングカンパニーの 1 社となっております。

同社の独自の RPA サービスは、従来型の RPA と異なり人間の直観操作に適した GUI(※3)機能や高度なソフトウェア自動認識機能と自動化操作の知能推薦機能を搭載しております。当社は、同社の技術力を高く評価するとともに、同社 RPA サービスが日本国内企業の DX 推進を加速させるものと判断し、2023 年 4 月 6 日に Intelligence Indeed Recomm 株式会社(本社：東京都渋谷区代々木 3-25-3、代表取締役社長 別玉龍、以下「IIR」)を日本で設立いたしました。

IIR は本年 5 月より営業開始以降、受注実績は順調に推移しており、業務提携先である当社がマレーシアにおいて 3 社の子会社を展開している背景から、同社の第 2 弾の海外展開戦略として、当社の顧客資産や販売網の活用によって当該市場への円滑な進出を図っていくことで合意いたしました。

※1：Robotic Process Automationの略称で、ソフトウェアロボットを利用した業務プロセス自動化技術の一種。

※2：Intelligent Process Automationの略称で、RPAにAI機能を組み合わせることで、単純作業だけでなく、高度な判断や意思決定も含めて業務の完全自動化の実現を目指すもの。

※3：GUIとは、グラフィカルユーザインターフェース(Graphical User Interface)の略語。命令文を入力して実行する方式(CUI)に比べ、直感的に操作できるのが特長で、RPA運用に必要な設計書であるシナリオ作成をプログラミング知識がなくても可能にしたもの。



誰でも使えるRPAサービスのパンフレット

2. 販売スキーム

①合弁会社の設立

実在智能社と当社は、マレーシア国内において同社RPAサービスを提供するための合弁会社を設立いたします。新会社は、実在智能社が行うRPAサービスの中国語版・英語版をマレーシア国内の企業に提供いたします。

②独占販売権の付与

新会社の提供するRPAサービスを販売する当社既存子会社を販売会社として、新会社より独占販売権を取得し、2024年1月以降、サブスクリプションや卸売などの様々な提供モデルを模索しながら、直販や代理店チャネル経由で販売開始することを想定しております。

3. 実在智能社について

実在智能社は、設立後わずか4年で、チャイナテレコム、チャイナユニコム、チャイナタバコなどの大手企業を中心に1,500社以上の顧客を有する急成長企業です。

会社名： 杭州実在智能科技有限公司

本社所在地： 浙江省杭州市余杭区余杭街道文一西路1818-2号6幢6F

代表者： 孫林君

事業内容： 人工知能技術企業

資本金： 16,038千元(約3.28億円、1元=20.46円)

売上高： 120,000千元(2022年度見込み)(約24.6億円、1元=20.46円)

参考URL：<https://www.ai-indeed.com/>

4. 合併会社概要

会社名： 決定次第、開示いたします

本社所在地： Level27-08 Q Sentral, Jalan Stesen Sentral 2, 50470 Kuala Lumpur, Malaysia.

代表者： 決定次第、開示いたします

事業内容： 実在智能社のRPAサービスのマレーシア国内のライセンス販売元

資本金： 1,000,000 Malaysian ringgit (約3,188万円、1 Malaysian ringgit =31.88円)

合併比率： 実在智能社 51%、当社 49%

5. 販売目標及び中長期の事業戦略について

当社がマレーシア国内における従業員 1000 人未満の企業に対し RPA マーケティング調査を行ったところ、RPA の導入率は 22.9% に留まっております。一方で、簡単に導入できるのであれば 76.7% の企業が購入したいと考えていることも明らかになっております。RPA の導入が進まない最大の要因は、自動化プロセスの設計に必要な IT リテラシーを持った社員の不在にあります。そうした背景の元、実在智能社の RPA サービスは IT の操作に不慣れな社員でも簡単に操作できることから、当社は同社サービスが RPA の普及に寄与できるものと判断しております。此度は新会社の提供する RPA サービスを提供することにより、顧客企業の DX 推進を支援するとともに、マレーシア国内企業の人手不足問題の解決にも貢献してまいります。

今回の業務提携における販売目標として、今後 3 年間で約 2,000 件のライセンス獲得を見込んでおり、今後は、当社の海外拠点の中で中華系企業が多数進出しているシンガポール、他の ASEAN 各国でも同様のビジネスモデルによる共同事業を検討する予定です。

2020 年より販売開始したウイルス除菌装置「ReSPR」に続く第二のグローバル戦略商品として、同サービスを成長させてまいります。

6. 業績等に与える影響について

2024 年 9 月期連結業績に与える影響については、11 月 14 日に開示予定の 2024 年 9 月期の業績予想に織り込んで発表する予定であります。

以上